

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：大越昆虫館運営委員会

26A-06

代表者：会長 江村 薫

URL :

1. 活動が必要とされた状況

大越昆虫館は、令和4年4月、埼玉昆虫談話会の有志により新たに設立された団体「大越昆虫館運営委員会」が管理運営している。その目的は、地域の自然環境教育の拠点となる大越昆虫館における諸活動を通し、未来を担う子供たちを対象に、昆虫と自然環境に関する普及啓発を行うとともに、地域の自然環境に関する調査研究を推進し、生物多様性の保全や環境学習の促進に寄与するものである。

従来の諸活動をレベルアップさせるため「大越昆虫館レベルアッププロジェクト」を立ちあげ、助成金申請を行った。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- (1) 大越昆虫館の開館：土曜・日曜・祝祭日・埼玉県民の日及び夏休み期間の7月25日から8月11日までの平日に、昆虫標本展示及び生体展示を実施した。
- (2) 自然観察会等のイベントの開催：月1～2回開催（延べ17回実施）
- (3) 熊谷市立図書館と共催し、夏休み期間（7月22日～8月31日）に「昆虫の世界」展を開催した。（提供した昆虫標本箱：140箱）
- (4) 埼玉県国際科学研究センター及び加須未来館での昆虫標本展示の要請に対応した。
- (5) 大越地区（昆虫館生態園を含む。）での昆虫生息調査：随時
- (6) 昆虫標本の保全管理（防虫剤入替及びカビ除去）：随時



「夜間採集・観察会」のイベント

3. 活動の成果

- (1) 夏休み期間の平日開館により、来館者数が増加した。
- (2) イベント実施回数の増加により、来館者数が増加した。
- (3) 標本箱撮影用の「カメラスタンド」の購入により、画像データの蓄積が進み「図録」作成への準備が進行した。
- (4) 標本箱の購入により、古い標本箱の廃棄を行い、昆虫標本の保全管理がレベルアップした。
- (5) 夜間採集キットの増設により、参加者から高評価が得られた。
- (6) パンフレットの部数アップにより、大越昆虫館のPR活動の広がりが拡大できた。

4. 今後に残された課題

大越昆虫館の諸活動を更にレベルアップするため、①広報誌の発行、②昆虫館の活動強化のための会員（正・賛助）の増加、③必要資材の確保等が当面の課題となっている。